2-⑤ 自己探究に成功する秘訣

<自己探求に成功する秘訣>(P51~)

親しみ慣れたものに対する懐かしさ

わたしたちは正しい質問をすることを学ばねばならない。たとえば、「なぜわたしはこんなふうに行動するのでしょうか?」、また「どうすれば、わたしに自然に具(そな)わっている力を浪費することがやめられましょう

われわれは、間違ったアイディアや相互矛盾する欲望でいっぱいの心で生きているかぎり、どうすれば正しい行為にでられるか、決して知ることができない。そうした心は常に苛立っており不安定だからである。しかしもし

あなた自身の真の利益のために行なうことを学べ。勝利の人生は壁に囲まれた庭園に比較される。

美麗(びれい)と芳香はそこにある、だがそれらは獲(か)ちとられなければならない。公衆のための広い門は設けられていない。そうだったら庭園はたんに好奇心から近づいてくる人達や庭園の豪華さを真に貴(とうと)ぶ

ただ求道者にとって大きな難題は、真に頼るべきものと贋(にせ)のそれとを識別することがまず不可能だという点である。彼は途方に暮れ、ひとつの思考方法ないし教師から他へとふらつきながら頼り歩き、あげくは無益

だが彼はみずからを助けることができる。ひとつには、彼はいまや本物と贋物とを識別する判断力が自分には穴けていることに目覚める。彼は、自分の不安と焦りとから、急速な救いを約束する教理ならなんでも受けいれた

一見して遅々(ちち)たるあなたの進歩に焦ってはならない。いま走れる以上に速く駆けようとしてはいけない。あなたがいま勉強し、反省し、そして努力しているならば、あなたは、気づいていようといまいと、着実に進

わたしたちが徐々にわが家へ近づくにつれ、家が見えてくる。長いこと訪ねたことのなかった故郷の町へいってみれば、ああこれがあの街並みかと感じられるように、あらゆるものについてなにかしら漠然と親しみ慣れたも

わたしを導く記憶の手がかりはなにもなかった

でもあちこちの道をわたしはよく知っていた

親しみなれた事物という感情が一足ごとに高まっていった

Revision #3
Created 16 October 2024 07:24:29 by ゆう
Updated 3 December 2024 10:17:45 by ゆう